

お知らせ
します

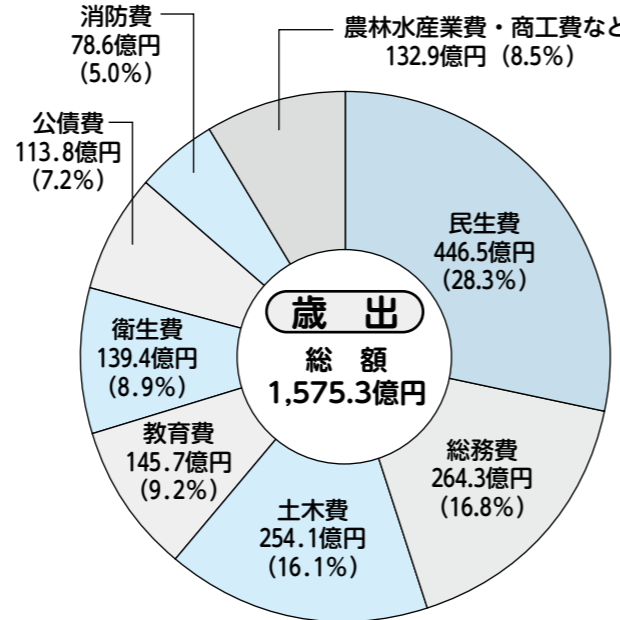
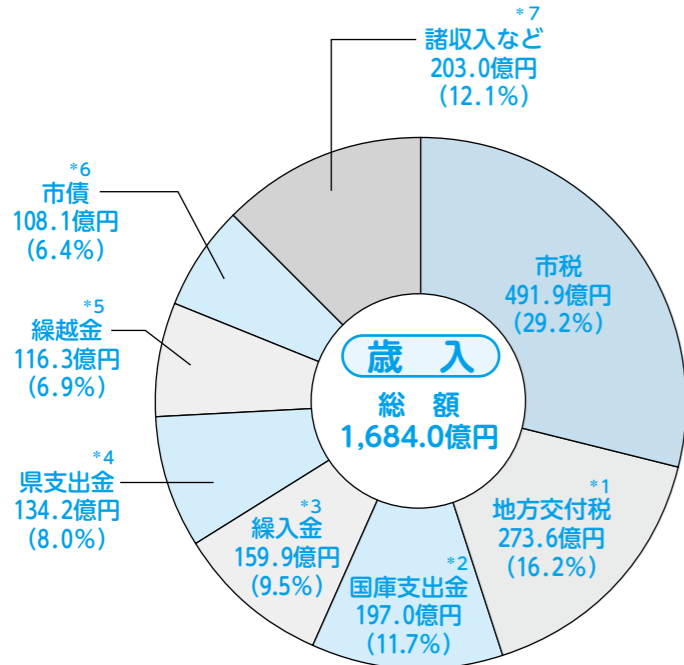


市の家計簿

市では「いわき市財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、財政状況を明らかにするため、①平成27年度決算のあらましと、②平成28年度予算上半期（4月1日～9月30日）の執行状況を作成・公表しています。
今月号では、公表している内容の概要をお知らせします。

※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げが合計と一致しない場合があります。

①平成27年度



- *1 一定水準の行政サービスを提供するために国から交付されるお金（震災からの復旧・復興分を含む）
- *2 特定の目的のために国から交付されるお金
- *3 各種基金などから繰り入れるお金
- *4 特定の目的のために県から交付されるお金

- *5 前年度の会計から持ち越されたお金
- *6 市が行う大規模な建設工事や災害復旧事業などに認められる借入金
- *7 貸付金の元金収入など、ほかの収入に含まれないお金

決算のあらまし

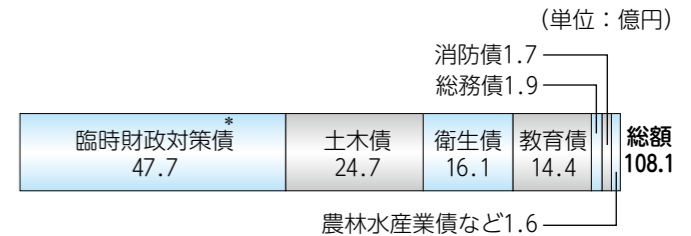
一般会計 福祉や教育、土木など市の一般的な事業の大部分を経理する会計（震災の影響により規模が大きくなっています）

平成27年度の一般会計決算額は、歳入総額が1,684億931万円（対前年度比20.8%減）、歳出総額1,575億2,924万円（対前年度比21.6%減）でした。このうち、平成28年度へ繰り越した事業に充当した財源を差し引いた実質的な収支は、52億8,730万円の黒字となりました。

歳出の主な事業と費用 (単位：億円)

区分	事業内容	事業費
民生費	生活保護費	68.0
	児童手当給付費	54.4
	障害福祉サービス事業費	46.2
	私立保育所施設型給付費	30.2
	児童扶養手当給付費	16.3
	重度心身障害者医療給付費	9.4
土木費	災害公営住宅整備事業費	61.1
	復興道路整備事業費	11.2
衛生費	ごみ収集処理費	35.7
	病院事業費	25.2
教育費	給食センター施設管理運営費	22.5
	小・中学校建設費	18.3
消防費	除染推進事業費	38.4

市債使い道 市債を活用して整備した道路などは、皆さんが将来にわたり利用するものですので、返済は次の世代の方々にも負担してもらおうという考えに基づいています。



* 地方一般財源の不足に対応するため、地方財政法の特例として発行される地方債

市債を活用した主な事業

区分	事業内容
土木債	道路新設改良事業
	公営住宅建設事業
衛生債	一般廃棄物処理事業
	火葬場整備事業
教育債	小・中学校校舎等地震補強事業
総務債	庁舎等耐震化改修事業

市民1人当たりの市民サービス

民生費 128,460円 児童や高齢者、障がい者福祉など	総務費 76,052円 市税・戸籍・選挙など	土木費 73,119円 道路や住宅、公園の整備など	教育費 41,915円 学校教育や文化・スポーツ振興など	サービス額 市民1人当たり 453,254円 141,520円 ※平成28年4月1日現在の人口347,552人で算出。
衛生費 40,106円 各種検診や予防接種、ごみ処理など	公債費 32,734円 借入金（市債）の返済など	消防費 22,622円 消防・水防、救助活動など	商工費 18,489円 商工業や観光の振興など	
農林水産業費 10,636円 農業や漁業、林業の振興など		災害復旧費・議会費など 9,121円 被災した施設の復旧、市議会運営など		

復興交付金を活用した主な事業 (単位：億円)

事業内容	復興交付金
災害公営住宅整備事業	69.4
復興道路整備事業	6.5
小名浜港背後地津波復興拠点整備事業	6.0
(仮称) 久之浜・大久地区地域総合施設整備事業	3.9
都市公園整備事業	3.8
避難路整備事業など	18.1
合計	107.8

復興基金を活用した主な事業 (単位：億円)

事業内容	復興基金
工場等立地奨励金	7.0
津波被災住宅再建支援事業	1.7
土地区画整理事業会計繰出金	1.6
(仮称) 久之浜・大久地区地域総合施設整備事業	1.3
災害公営住宅入居支援事業	0.4
観光誘客促進事業など	0.7
合計	12.7

特別会計 国民健康保険事業など特定の事業を行う場合、特定の歳入（国民健康保険税など）をもって特定の歳出（医療費など）に充てる会計

(単位：億円)

会計名	収入済額	支出済額	差引額
国民健康保険事業	440.5	413.3	27.2
後期高齢者医療	35.6	35.6	0.0
介護保険	296.6	290.2	6.4
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.3	1.1	0.2
土地区画整理事業	167.7	141.3	26.4
下水道事業	111.0	96.6	14.4
中央卸売市場事業	3.3	3.0	0.3
競輪事業	181.8	175.0	6.8
地域汚水処理事業	4.2	0.6	3.6
農業集落排水事業	2.4	2.3	0.1
財産区（5財産区）	0.3	0.3	0.0
合計	1,244.6	1,159.2	85.4

企業会計 地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などにより補てんしています。

(単位：億円)

会計名	収益的収支 ^{*2}			資本的収支 ^{*3}		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道事業	110.0	79.6	30.4	17.2	58.7	▲41.5
病院事業	206.1	189.7	16.4	130.7	138.1	▲7.4
合計	316.1	269.3	46.8	147.9	196.8	▲48.9

- *1 減価償却費や資産減耗費など、現金支出を必要としないものを費用に計上することによって、企業内部に留保される金額
- *2 1事業年度の経営活動により、発生が予定される収益とその費用
- *3 将来の経営活動に備える建設改良や建設改良の企業債償還金などの支出と、その財源収入

中学生が市議会を模擬体験

議会の役割や地方自治の仕組みなどについて学び、理解を深めることを目的に、いわき市議会発足50周年記念事業の一環として「中学生議会」が開催されました。同議会では、議員となった中学生の皆さんが、それぞれの目線で市の現状を捉え、まちづくりに生かしていくための質問などを行いました。



子どもの運動不足解消への取り組みについて質問

十一月三日に、開かれた市議会を目指して、市議会を模擬体験する中学生議会が開催されました。この事業は、次世代を担う中学生に、まちづくりに対する関心を高めてもらうと、開催されたもので、同議会では、市内の中学生五十一人が議員となり、「地域振興」「環境保全・新エネルギー」「農林水産業」「文化・スポーツ」「教育」などの八つのグループに分かれ、公衆無線LANスポットの今後の設置予定や子どもの運動不足解消への取り組み、公共施設

設における歩きスマホ対策など、十六の質問を行いました。また、初の試みとして、特別委員会を開催し「ふるさとまちづくり」「産業育成支援」など、四つの委員会の委員長に選ばれた中学生議員が、市に対して提言を行いました。中学生議員の皆さんは、議会の役割や地方自治の仕事などを学ぶとともに、それぞれの目線で市の現状を捉え、市民生活と行政の関わりや、本市が直面するさまざまな課題について考えていました。



中学生議員が市執行部と質疑を展開

市議会10月臨時会を開催

いわき市議会10月臨時会が、10月26日に開催されました。今回の議会では、市長が平成27年度歳入歳出決算の認定に関する16議案を提出しました。議案は、一般会計決算特別委員会、特別会計決算特別委員会に付託され、閉会中に継続審査されます。

中学生議会議長にインタビュー



石橋凜さん（小名浜二中3年）

中学生議会を通して、市の取り組みを学ぶことができ、貴重な経験になりました。議長役はとても緊張しましたが、最後までやり遂げることができました。

これからも、さまざまなことに興味や関心を持ちながら、いろいろなことに挑戦していきたいです。

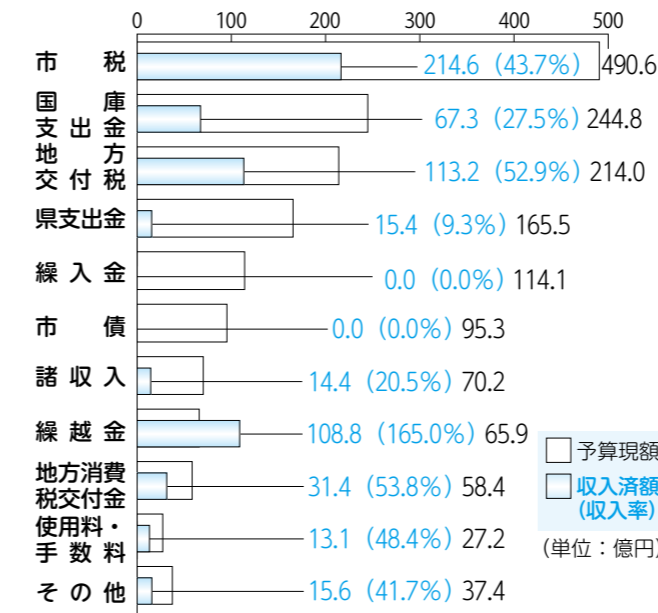
②平成28年度予算上半期の執行状況

一般会計

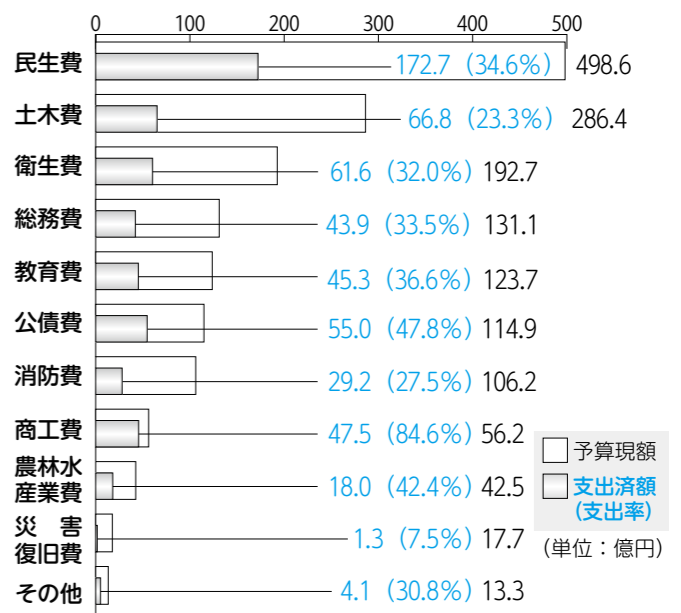
平成28年度9月末現在の一般会計予算は、当初予算額1,391億1,850万円に、補正予算額など192億1,411万円が加わり、1,583億3,261万円となっています。

また、同日現在の収入率は37.5%、支出率は34.5%で、前年度同期に比べて、収入では0.7ポイント、支出では6.2ポイント高くなっています。

歳入 予算現額 1,583.3億円
収入済額 593.8億円(収入率37.5%)



歳出 予算現額 1,583.3億円
支出済額 545.6億円(支出率34.5%)



特別会計

会計名	予算現額(億円)	収入率(%)	支出率(%)
国民健康保険事業	415.0	42.3	45.1
後期高齢者医療	36.1	33.0	31.5
介護保険	303.7	46.2	40.1
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.5	34.2	37.5
土地区画整理事業	192.0	14.3	17.1
卸売市場事業	3.1	49.6	37.1
競輪事業	181.4	23.3	20.8
財産区(5財産区)	0.4	30.1	9.1
合計	1,133.3	35.3	34.6

市債の現在高

区分	現在高(億円)	主な内訳
一般会計	1,121.3	臨時財政対策債483.4、一般単独事業債274.4、公営住宅建設事業債78.5、学校教育施設等整備事業債65.1、公共事業等債60.5、退職手当債45.2、緊急防災・減災事業債など114.2
特別会計	83.0	土地区画整理事業債など83.0
企業会計	1,097.0	下水道事業債649.7、水道事業債など447.3
合計	2,301.3	

企業会計

会計名	収入予算額(億円)	収入率(%)	支出予算額(億円)	支出率(%)
水道事業	135.4	36.0	196.2	15.1
病院事業	229.4	49.5	232.9	35.5
下水道事業	150.2	33.5	178.9	23.4
地域汚水処理事業	1.6	30.2	1.5	15.5
農業集落排水事業	3.4	38.2	4.0	28.6
合計	519.9	41.2	613.6	25.4

市の財産

項目	金額(億円)
○一般会計・特別会計	
・土地	58,134,594㎡
・建物	1,598,761㎡
・立木	481,999㎡
・車両	743台
・有価証券など	16億1,455万円
・基金	現金=799億4,719万円 現物=40億1,930万円
○企業会計	
・土地	1,215,075㎡
・建物	145,492㎡
・車両	76台
・構築物など	2,135億5,827万円

一時借入金現在高

一般、特別、企業の各会計とも0円

市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。○お問い合わせ 財政課予算調整係 ☎22-7565